

ISSN 2435-6719

士別市立博物館報告

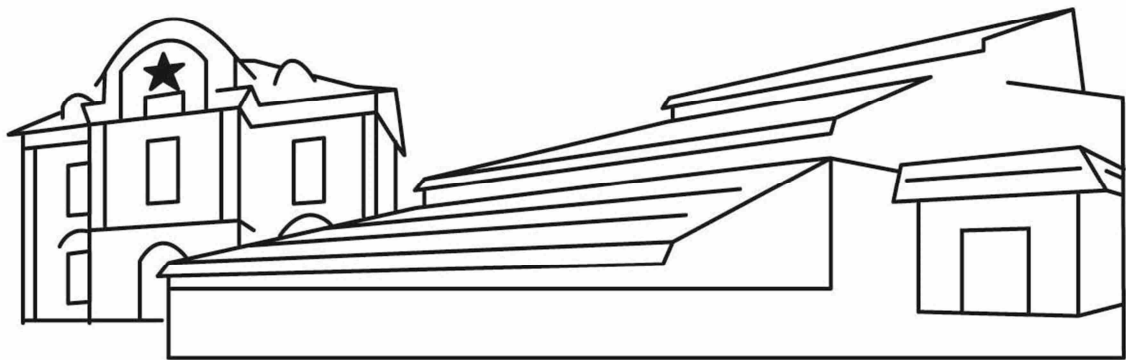
第38号

令和3(2021)年3月発行

士別市立博物館報告

第 38 号

2019.4.1 ~ 2020.3.31



Shibetsu City Museum

あいさつ

平成 31/令和元年は、平成の元号が終わり令和という新たな年号を迎えた年であり、また、年が明けた令和 2 年は、新型コロナウイルス感染症という未知の病原体との戦いの始まりの年でもありました。

この令和元年という年は、士別市にとっては、明治 32 年の屯田兵による開拓から 120 年という節目の年でもありました。それに伴い、士別の 120 年のあゆみを振り返る展示「士別 120 年の記憶」を開催し、多くの方にご来館いただきました。また、関連する講座として、士別市出身でふるさと大使を務める、映画監督の水戸英樹氏に「士別の今」と題して、講演をいただきました。

そのほかには、特別展として、富良野市博物館と共催で「森を支えるきのこ」を開催し、“自然界におけるきのこの役割”を紹介し、こちらも多くの方にご来館いただくことができました。

最終年となった文化庁の補助事業「しべつアーティスト・イン・レジデンス」では、日本版画協会から 2 名の版画家を招へいして、春をテーマにした滞在制作を行いました。民泊や農業体験、地域の保育園や学校などでワークショップを行い、地域に寄り添った活動を行いました。一方で、成果展のセレモニーなどが、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催せざるを得なかったことは、非常に心残りとなってしまいました。ですが、今後も、文化芸術の普及活動を通じて、地域の良さを感じながら、文化を育てていけたらと思います。

この他にも、地域の歴史と文化、自然に根差した展示や講座の開催と調査研究活動を継続して行ってまいりました。

地域の「歴史・自然・文化」を総合的に扱う博物館として、より一層の充実を目指していきますので、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

日頃から当館の活動に深いご理解と多大なご協力を賜っております関係各位に厚くお礼申し上げます、発刊のご挨拶といたします。



●目次

| | |
|-----------------------------------|-------|
| あいさつ..... | i |
| 目次..... | II |
| 1、博物館の運営..... | 1～4 |
| 1-1 博物館組織図..... | 1 |
| 1-2 施設の概要..... | 2 |
| ●博物館・公会堂展示館敷地面積..... | 2 |
| ●常設展示の概要..... | 3 |
| ●利用者の状況..... | 4 |
| 2、博物館活動..... | 5～20 |
| 2-1 教育普及活動..... | 5 |
| ●展示活動（特別企画展/臨時企画展）..... | 5 |
| ●主催/共催講座/依頼講座..... | 8 |
| ●見学/研修/視察等の受入..... | 13 |
| ●アーティスト・イン・レジデンス事業..... | 14 |
| 2-2 資料の収集・整理・保存..... | 15 |
| ●資料の寄贈..... | 15 |
| ●資料の整理・保存..... | 16 |
| ●資料の貸し出し..... | 17 |
| 2-3 調査/研究活動..... | 18 |
| ●博物館所蔵資料の調査・研究/伝統芸能の伝承と保存..... | 18 |
| /天塩川上流域の水生生物調査/きのこの採集調査/鳥類生息調査 | |
| ●学芸員の執筆活動..... | 20 |
| 2-4 ボランティア活動..... | 20 |
| 3、研究報告書..... | 21～50 |
| ●【研究ノート】 | |
| 「北海道士別市におけるウチダザリガニの生息記録（速報）」..... | 23 |
| 本部 哲矢（士別市立博物館学芸員） | |
| ●【史料紹介】 | |
| 「多寄日向農場第一回報告書」..... | 27 |
| 中村 圭佑（士別市立博物館学芸員） | |
| 4、研究報告書投稿規定..... | 51 |
| 5、博物館各種文書様式..... | 52～53 |

4、研究報告書投稿規定

士別市立博物館研究報告書投稿規定

◇本館報の目的

- ・士別市に関する自然や歴史、文化などの調査・研究を行ない記録として残す。
- ・成果を報告し、広く公開することで、学術の発展、市民の生涯学習活動に寄与する。

◇投稿資格

職業・年齢・居住地などは問わず、士別市の自然や歴史、文化などについて調査・研究を行っている者であれば、誰でも投稿可能。

◇論文の書式

- | | |
|------------|--|
| (1)用紙設定 | 40字×35行=1,400字。上下左右25mm～30mmの余白を設けること。 |
| (2)フォント | 本文はMS明朝体を基本とし、タイトルはMSゴシックとする。 |
| (3)フォントサイズ | 文字の大きさは10.5p～12.0pの間とする。 |
| (4)本文 | 日本語を原則とする。 |
| (5)枚数 | 1400字詰用紙30枚以内とする。 |
| (6)ページ番号 | ページ番号などは附さなくてよい。 |
| (7)図・表など | 枚数内であれば本文中、または別に図表編を付してもかまわない。 |
| (8)参考・引用文献 | 各々の手法に従い明記。 |

例1) 作者『著作物タイトル』(出版元 出版年) ●●頁

例2) 作者. 出版年. タイトル. ページ. 出版元. 出版地.

◇投稿に関する諸注意

- ・投稿を希望する方は、執筆前に博物館へお問い合わせください。
- ・投稿する原稿のデータについてはWordとPDFの両方をお送りください。
- ・内容や誤字・脱字などの修正についてお願いする場合があります。
- ・原稿については、著作権は当館に帰属するものとしますが、投稿後も著作者は自由に著作物を利用することができます。
- ・今後館報はインターネットにて公開していく可能性があり、投稿の時点でこれに同意したものとします。

◇投稿先・連絡先

士別市立博物館 館報編集担当 (中村・本部)

〒095-0056 北海道士別市西士別町 2554 番地

Tel/Fax:0165-22-3320

Mail:hakubutsukan@city.shibetsu.lg.jp

5、博物館各種文書様式

様式第1号(第7条関係)

入館承認申請書

次のとおり士別市立博物館の入館を申請します。

年 月 日

士別市立博物館長 様

申請者 住所
学校又は団体名
代表者名

入館目的

入館日時 年 月 日
午前 午前
時から 時まで
午後 午後

入館人員 人

入館責任者 氏名

入館料 円

その他

様式第1号(第7条関係)

様式第2号(第8条関係)

入館承認書

年 月 日申請のあった士別市立博物館入館の件について次のとおり承認する。

年 月 日

様

士別市立博物館長 様

入館目的

入館日時 年 月 日
午前 午前
時から 時まで
午後 午後

入館人員 人

入館責任者 氏名

入館料 円

その他

様式第2号(第8条関係)

様式第3号(第10条関係)

入館料減免申請書

| | | | |
|--------|-------|-------------|-----------------|
| 入館日時 | 年 月 日 | 午前、午後 時 分から | 午後、午後 時 分まで |
| 入館人数 | 高校生以上 | 人 | 子ども 人 引率者 人 計 人 |
| 規定入館料 | 円 | 減免率 | 減免申請額 |
| | | 割 | 円 |
| 減免申請理由 | 円 | | |

上記の理由により士別市立博物館入館料の減免を受けたいので申請いたします。

年 月 日

士別市立博物館長 様

申請者 住所
学校又は団体名
代表者名

様式第3号(第10条関係)

様式第4号(第10条関係)

入館料減免承認書

| | | | |
|--------|-------|-------------|--------------|
| 入館日時 | 年 月 日 | 午前、午後 時 分から | 午後、午後 時 分まで |
| 入館人数 | 引率者 | 一般(高校生以上) 名 | 小・中学生 名 幼児 名 |
| 規定入館料 | 円 | 減免率 | 減免申請額 |
| | | 割 | 円 |
| 減免申請理由 | 円 | | |

年 月 日申請のあった士別市立博物館入館料減免の件について承認する。

年 月 日

申請者 住所
学校又は団体名
代表者名 様

士別市立博物館長 様

様式第4号(第10条関係)

士別市立博物館報告 第 38 号
令和 3(2021)年 3 月発行

編集・発行 士別市立博物館
〒095-0056 士別市西士別町 2554 番地
Tel : (0165)22-3320

製本／田中印刷株式会社